

【次第】

1.校長挨拶

2.事務局より

ア.資料について

イ.本年度の取り組みについて

ウ.各分掌より(教務部・生徒指導部・進路指導部・人権教育推進委員会)

3.協議・意見交換

4.会長より

5.事務局より

1.校長挨拶

ア)今年度の状況について

新型コロナウイルスに関わる休校期間が四度設けられた。それに関連し、一学期は遠足や球技大会などの学校行事が開催することができなかった。しかし二学期には新型コロナウイルス感染拡大も徐々に収まり、体育大会、文化祭等の学校行事を開催することができた。学校行事を楽しみにしている生徒も多く、本校における学校行事の重要度を再認識した。

イ)再編整備について

今年度40校の定員割れのうち、本校を含む13校が再編整備の計画対象となった。本校は茨田高校との機能統合が決定し、募集人員は240名となった。機能統合とは、茨田高校の教育内容等を引き継ぐことであり、校名の変更や野崎高校がなくなるということではない。

2.事務局より

ア)資料説明

配布資料の確認

イ)本年度の取り組みについて

① 新型コロナウイルスに関わる休業

4/26~4/28 5/10~5/12 8/10~9/3 の三回は全体休業

9/10~9/13 は第一学年のみ休校の、部分休業

②学校行事の実施

9/28 体育大会 10/15 校外学習 11/5 文化祭 11/20 チャレンジ野崎 12/8~12/10 修学旅行を実施

3.各分掌より

ア)教務部より

- ・来年度より新カリキュラム。
- ・来年度新三年生の選択科目を整備。

イ)生徒指導部より

- ・規範意識の向上を目的に、駐輪場の指導を強化。それにより駐輪の仕方が改善された。
- ・1、2年前と比較しても遅刻が多くなってきている。(年に1万回)
- ・校外巡回の強化。
- ・組織的な活動の指導。

例)体育大会の応援団。生徒会の発案した競技を体育大会に取り入れる。

ウ)進路指導部より

現在までの進路状況の説明。内定率8割。地元志向の企業選びが目立つ。

大東市在住の生徒は3割ほど。枚方市や東大阪市在住の生徒が増えてきている。

茨田高校との統合により、大阪市在住の生徒が増えることが予想される。大阪市内の企業を開拓していきたい。

エ)総務部より

チャレンジ野崎の報告。中学生に好評だったが、「野崎高校に入りたいか」という質問に対し、「まだ分からない」と答えた子が半数以上であった。こういう子たちにどう魅力を伝えていくかが課題である。そのためにも、中学校と連携し、多くの中学生に説明会に来てもらいたい。

オ)人権教育推進委員会より

今年度の取り組みの紹介。ジェンター教育、太鼓グループ魁の演奏、SHINGO 西成さんのライブ、車いすバスケットボール五輪代表選手の講演を行った。

生徒からの評価もよかった。これからも生の声を重視して取り組みを行っていききたい。

4.協議・意見交換

ア)委員より

授業は教科指導の面と生徒指導の面があると思うが、リモート授業では生徒指導の面がとても薄くなってしまっていると感じているが、野崎高校はリモート授業についてどう思っているか。

→youtube にアップロードして見てもらう取り組みはした。サブとしてはよいかもしれないが、リモートを授業の中心にするのは難しいと思う。そもそもリモート授業を受けられる環境がない生徒がいる。(首席)

→リモート授業に参加できないとやる気が下がる。言いにくいかもしれないが、こういう現状をもっと教育委員会にアピールしたほうが良い。(委員)

→一人一台端末の準備はできているが、充電については生徒に家でしてもらうように上から言われている。しかし、生徒に持って帰らせて、また持ってきてもらうことができるか不安である。(首席)

→充電できる箱を用意するなど。これも上と相談か。(委員)

イ)委員より

新型コロナウイルス感染症の影響があるかもしれないが、シフト制で働いている保護者がいるので、行事の予定については1ヶ月前には確定してほしい。

生徒が退学・転学する割合が増えているが、どう対応しているのか。

→多様な生徒がいるなかで、SC にかける生徒を毎月確認し、話を聞いてもらうようにしている。担任や養護教諭とも連携し、生徒がなじめるように取り組んでいる。昨年度から良い方向に動いている。

(首席)

ウ) 委員より

里山ボランティアについて。参加している生徒らはやりがいを感じている。景色の感動することも。これからもだいとう森づくりクラブのブログ運営などで協同して取り組んできたい。

エ) 委員より

部落問題学習（同和教育）について。野崎高校から異動した先生方も、他校で同和教育についての取り組みを続けてくれている。

野崎高校の卒業生の職場における評価が高い。

遅刻が課題だが、時差登校がおもしろいかもしれない。

5.会長より

生徒が学校に来ることがまず第一である。ベストな居場所である必要がある。そのための運営は適切にされている。

国語力、読解力はとても大事なので、どう身につけさせていくかは課題の一つだと思う。

今の生徒はインターネットでよく調べている。そのため、学校のPRはウェブをもっと活用する。

人推委の取り組みはとても良い。逆境からの成功例は生徒が勇気づく。

和太鼓を部活に取り入れるのも一つではないかと思う。

6.事務局より

次回は2月上旬を予定。
